

Flower Message

37th | 2024年4月1日から
2025年3月31日まで



ファレノプシス
ベビーフェイス

有限会社加藤洋ラン園
加藤 英世様
(千葉県)



株式会社大田花き 代表執行役社長 就任ご挨拶

2025年6月21日付で株式会社大田花きの代表執行役社長に就任いたしました萩原正臣です。これまで多くの皆様より賜りましたご指導とご支援に深く感謝申し上げます。今後は、当社のさらなる発展はもとより、お取引先様のご成功、株主の皆様、そして花き産業に携わるすべての方々のご多幸、さらに花のある暮らしを楽しむ多くの方々のために、誠心誠意努めてまいります所存です。

経営方針について

前任の代表である磯村信夫は相談役に就任いたしました。私は、これまでの経営方針を踏襲すべく、磯村と定期的に継承ミーティングを重ね、その視点や判断基準を共有しながら、事業の継続性と発展性を図っております。卸売市場としての公共性を大切にしつつ、花き産業の価値をいかに高めていくかという使命を胸に、今後も変わらぬ理念のもとで、持続的な成長を目指してまいります。

磯村は、花き卸売市場における公共性・公平性の確立に尽力するとともに、生鮮品市場としては先駆けてセリの機械化を推進し、時代の変化に応じた進化を遂げてまいりました。さらに、自動分荷機の導入により分荷のスピードと正確性を高め、中央中核市場としてのハブ機能を強化し、流通網の広域化と物流機能の飛躍的な拡大を実現いたしました。

私もこれまで社員としてその変革の時代をともに歩み、数々の取り組みに参画してまいりました。現在は変革の第二ステージとして、デジタル化や機械化を前提に、人材育成に重点を置くフェーズに入っております。

企業としての成果を上げるためには、社員一人ひとりが自律し、能力とスキルを高め、やりがいを持って働ける環境づくりが欠かせません。当社で働くことに誇りと喜びを感じられるような企業を目指し、その実現に向けて取り組んでまいります。

もちろん、最終的な目標はお取引先様や業界の皆様のご満足とご繁栄です。しかしそれを支える私たち自身がまず、心身ともに豊かでなければ、良いサービスや価値の提供は実現し得ません。

主体性を持って業務に取り組める人材、責任感を持ち判断ができる人材、柔軟に環境変化に対応できる人材、そしてサプライチェーン全体を俯瞰し、最適化できる人材など、多様な人材の育成に力を注いでまいります。

花き業界を取り巻く社会的変化と その対応

昨今、私たちの社会は大きな転換期にあります。物価高騰や国際的な協調体制の変化など、これまでの常識が通用しない事象が次々に起きています。こうした状況を深く理解し、それが花き業界にどのような影響を及ぼすかを的確に見極めていくことが求められています。

人口動態や経済状況、国際関係、生活文化の変容など、社会の潮流が変わる中で、花の使われ方も少しずつ変化しています。これは、新たな商機とも捉えることができます。花文化をどのように生活に根付かせていくか——私たちはその問いに対する答えを探し、実践し、そして社会全体に花の価値を届けていきたいと考えております。

花き産業の共創拠点として

国内においては、花きの生産・消費ともに減少傾向が続いています。農林水産省の作況調査によると、切り花の国内生産量は1996年をピークに、2023年には53%まで減少しました。また、総務省の家計消費調査(2人以上世帯・税込)では、切り花への支出金額も1997年をピークに2024年には約60%まで減少しています(税抜換算で56%)。

生産者の皆様には、可能であれば今後の出荷量を増やしていただきたいという思いがありますが、需要の不確実性や気候変動の影響を受け、従来のように計画的な増産を行うことは難しい状況です。

このような中で求められるのは、サプライチェーン全体の再構築です。当社では、種苗、生産、流通、消費のすべての段階に関与し、各所との調整を行う体制を整えております。国内生産を増やす取り組みも、既にいくつか始動しており、今後は他産業や他社とのパートナーシップを強化しながら、花き産業における共創拠点としての役割をさらに高めてまいります。

また、消費の面においても変化のスピードは速まっております。仏花需要は安定を保っている一方で若年層の間では新たな需要が生まれており、冠婚葬祭のスタイルも多様化しています。生花店以外の販売チャネルも活発化する中、こうした変化を的確に捉え、花き文化が生活の中により深く根付くよう、業界一体となって取り組んでまいります。

私たちは、多様な能力を持つ人材を尊重し、それぞれの実力を高め合いながら、持続可能な花き産業を創り上げてまいります。そして、社会に貢献する企業として、より一層の発展を目指してまいります。

今後ともご支援・ご期待を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表執行役社長
萩原 正臣

略歴

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 1996年 4月 | 株式会社大田花き入社 |
| 2005年10月 | 当社営業本部第1グループマネージャー |
| 2013年 1月 | 株式会社九州大田花き専務取締役営業本部長 |
| 2014年 4月 | 当社執行役
株式会社九州大田花き代表取締役社長 |
| 2020年 4月 | 当社執行役専務
株式会社九州大田花き取締役(現任) |
| 2025年 4月 | 当社代表執行役
株式会社大田ウィングス代表取締役社長(現任) |
| 2025年 5月 | 株式会社大田花き花の生活研究所取締役(現任) |
| 2025年 6月 | 当社取締役 代表執行役社長(現任) |



<https://otakaki.co.jp/corp/greet/>

【ごあいさつ】



<https://otakaki.co.jp/contents/pres/>

【社長コラム】

パーパス

世界を花で笑顔にする

企業理念

事業を通して暮らしにうるおいを提供し豊かな社会文化を創造します。
事業を通して利益を伸ばし全社員の豊かでゆとりある生活を実現します。

経営理念

業界のリーダーとして花き流通の活性化を図り、
持続可能な社会の実現に貢献します。

事業領域

Solution (課題解決) と Value Creation (価値創造) で、
花が身近な未来を創造します。

社会課題の解決のためのマテリアリティ

当社は、卸売市場の運営という公共性の高い事業を通して、
広く社会に貢献する企業であり続けたいと考えています。

その思いを実現するために、社会・環境課題の解決のための
SDGs達成ビジョン・目標を設定し、真摯に取り組んでまいります。

【SDGsへの取り組み】

<https://otakaki.co.jp/corp/sdgs/>



Topics トピックス

フラワー・オブ・ザ・イヤーOTA2024



当社では、優れた花きの出荷を奨励することを目的に、「フラワー・オブ・ザ・イヤー OTA」という表彰制度を設けています。
毎年12月には、受賞者の皆様を大田市場にお招きし、その功績を称えとともに、感謝の気持ちをお伝えする機会としています。
第20回を迎えた2024年は、全国および輸入品を含むすべての候補の中から、次の受賞者が選出されました。

最優秀賞	優秀賞	特別賞	特別賞	新商品奨励賞
				
品目・品種	品目・品種	品目・品種	品目・品種	品目・品種
ディスバッドマム 「クラシックココア」	バラ 「オール4ラブ+」	リンドウ 「安代のはごろも」	枝物 「ミモザアカシア」	ヒマワリ 「ダージリン」
ご出荷者	ご出荷者	ご出荷者	ご出荷者	ご出荷者
JA愛知みなみ赤羽根 洋花部会ALL4MUM様 (愛知県)	齋藤 武 様 (栃木県)	JA新いわて八幡平 花卉生産部会様 (岩手県)	榎本バラ園 榎本 雅夫様 (千葉県)	山田 容礼(まさよし)様 (千葉県)

トレンド 分析

～品薄反映し、定番品目へ回帰～ 酷暑を乗り越えた“量と品質の生産地”が受賞

開催20周年を迎えた「フラワー・オブ・ザ・イヤー OTA2024」では、全国および輸入品を含む7万点以上の候補の中から、上記5品目が選出されました。

コロナ禍以降、長期化する品薄傾向を反映し、このたびは定番品目の入賞が目立つ結果となりました。また、近年の厳しい酷暑にもかかわらず、品質を維持しつつ出荷量を拡大するという“量と品質の両立”を実現した生産地が高く評価され、受賞につながっています。

さらに、ファッション業界でも注目を集めているパールトーンやくすみカラーは、花きマーケットにおいても引き続き高い人気を誇り、トレンドとして定着しつつあります。

詳細はこちらからご覧いただけます。

URL

<https://otakaki.co.jp/contents/flower/>



Welcome to 大田花き

イラストで大田花きをご紹介します。

保冷库

差圧予冷機（圧力の差を作り出し、段ボールの内部に冷気を引き込んで冷却する装置）を設置し、適切な鮮度管理に取り組んでいます。OTA花ステーションにも設置しています。

物流棟

切花の箱に貼られたバーコードラベルを機械が識別し、買参人ごとに仕分けられます。

仲卸通り

仲卸各社の店先はまさに花盛り！買参人・買出人で賑わいます。

花保ち試験室

こちらでは、試験室の条件を厳密に設定し、品質検査を行っています。

受付

ようこそ、大田花きへ。

事務所

事務所をリニューアルしました！開放的な空間でコミュニケーションの活性化にもつながっています。

ショーケース

季節商材や新品種の紹介を行っています。

せり場

日本の花き相場を形成しており、スピーディーで臨場感あふれるせりが行われます。

スロープ

地下と1階をつなぐスロープ。台車は自動搬送設備によって無人で安全に運ばれます。

花のモニュメント

大田市市場花き棟のシンボル。

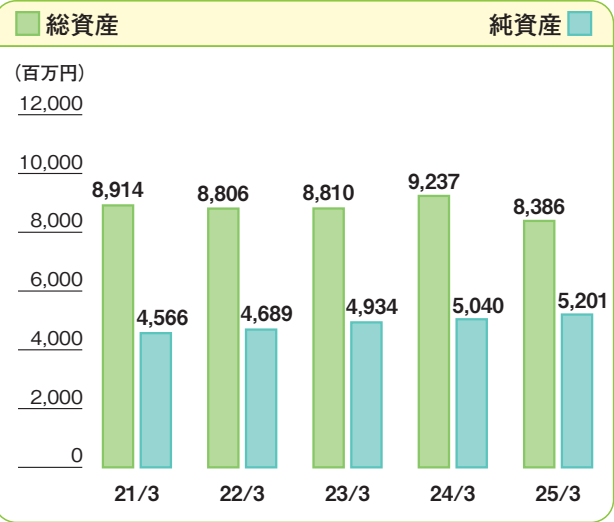
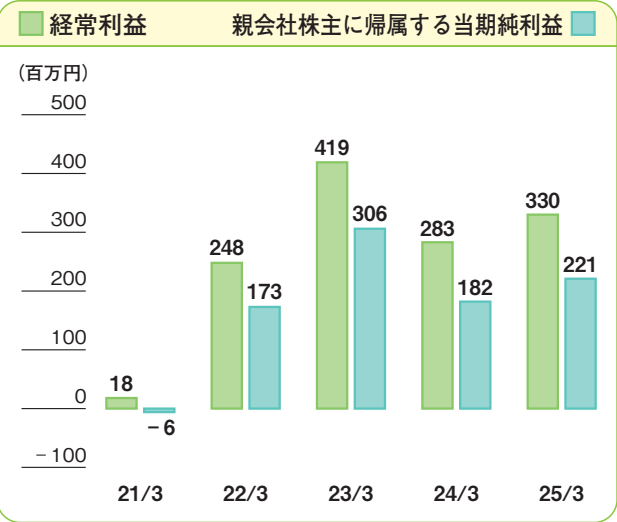
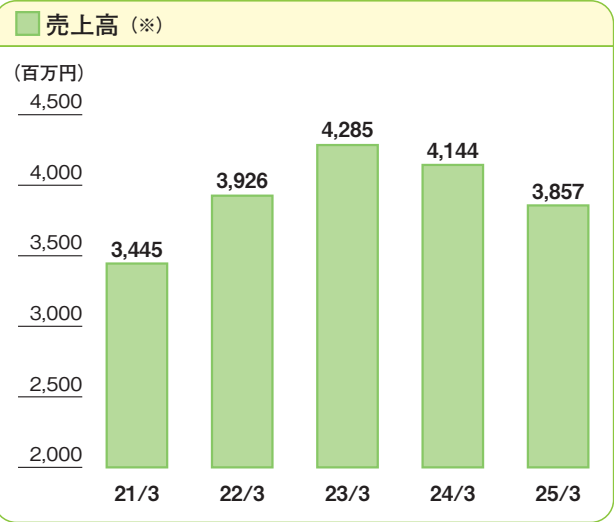
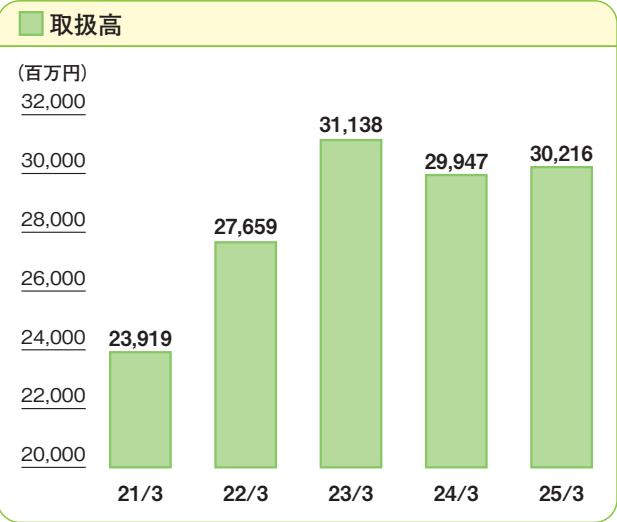
OTA花ステーション

2階、3階にそれぞれ約2,000㎡の保冷库が整備され2℃～18℃の定温・低温で花きを管理することができます。

OTA花ステーションからの眺望

羽田空港とのアクセスがよく物流拠点としての利便性は抜群です。

連結業績ハイライト



(※) 収益認識に関する会計基準等を適用した場合の数値です。

※詳細な業績ハイライトは、当社ホームページ「財務・業績ハイライト」をご覧ください。



連結財務諸表（要約）

(単位：百万円)

連結貸借対照表	前期末 2024年3月31日	当期末 2025年3月31日
資産の部		
流動資産	4,731	3,877
固定資産	4,505	4,508
有形固定資産	2,861	2,876
無形固定資産	83	79
投資その他の資産	1,560	1,552
資産合計	9,237	8,386
負債の部		
流動負債	2,793	2,018
固定負債	1,403	1,166
負債合計	4,196	3,185
純資産の部		
株主資本	5,040	5,201
資本金	551	551
資本剰余金	402	402
利益剰余金	4,436	4,597
自己株式	△ 350	△ 350
純資産合計	5,040	5,201
負債純資産合計	9,237	8,386

(単位：百万円)

連結損益計算書	前期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
取扱高	29,947	30,216
売上高	4,144	3,857
売上原価	1,166	786
売上総利益	2,978	3,071
販売費及び一般管理費	2,757	2,795
営業利益	220	276
営業外収益	66	79
営業外費用	3	25
経常利益	283	330
税金等調整前当期純利益	283	330
法人税、住民税及び事業税	98	125
法人税等調整額	3	△ 16
当期純利益	182	221
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	182	221

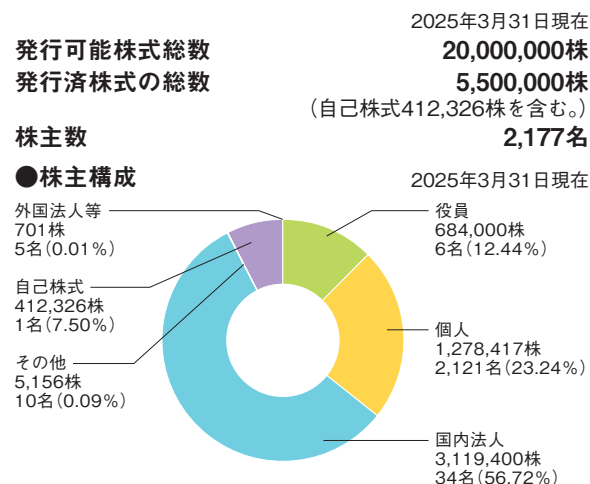
(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書	前期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	当期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,027	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 122	△ 250
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 366	△ 376
現金及び現金同等物の増減額	538	△ 555
現金及び現金同等物の期首残高	1,763	2,302
現金及び現金同等物の期末残高	2,302	1,746

※詳細な財務情報は、当社ホームページに掲載の「有価証券報告書」をご覧ください。



株式の状況／利益配分の基本方針



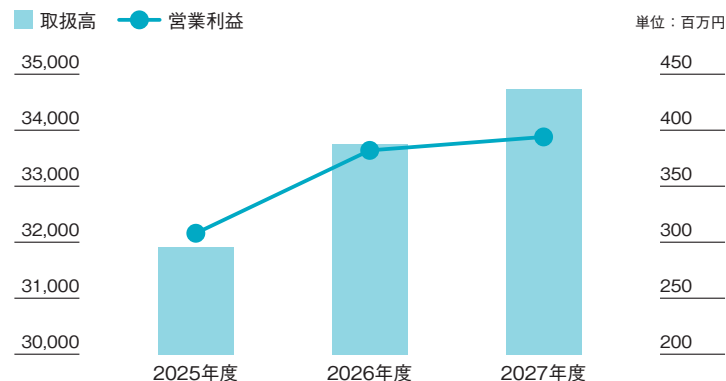
●大株主の状況			2025年3月31日現在	
氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)		
(株)大森園芸ホールディングス	1,627	31.97		
東京青果(株)	500	9.82		
小杉圭一	480	9.43		
(株)大森園芸	400	7.86		
磯村信夫	160	3.14		
(株)都立コーポレーション	156	3.06		
大田花き従業員持株会	115	2.26		
(株)南関東花き園芸卸売市場	105	2.06		
石井垂木子	103	2.02		
野田裕一郎	103	2.02		

※自己株式412,326株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※持株比率は自己株式(412,326株)を控除して計算しております。

中期経営計画

中期経営計画の概要

取扱高拡大と物流効率化の継続的な基本方針に加え、花き業界のバリューチェーンマネージャーとして消費・生産両サイドの双方向の情報流を構築し、マーケットインに基づいた需要フロンティアの拡大と生産性・付加価値の向上に取り組みます。また、「人財」である社員がやりがいを持ち、各々の個性と能力を発揮できる環境を整備します。



【基本施策】

- 強みを活かした積極的な取扱高拡大策と物流の効率化。
- 多様な人材と自律型社員の育成。

【重点戦略】

- 当社ECプラットフォームと配送ルート営業を組み合わせた取扱高拡大策。
- 産地と共同で新商品開発を行い、「創って作って売る」を実現する。
- 社内物流作業でのロボティクス・AIの活用と、物流会社・地方市場との物流ネットワークの構築。
- 評価基準と責任の所在の明確化により社員個々人がキャリアプランを描きやすくする。

※中期経営計画の詳細は、当社ホームページ「中期経営計画」をご覧ください。



会社情報

会社概要

- 2025年4月1日現在
- 商号 株式会社大田花き
 - 英文商号 Ota Floriculture Auction Co., Ltd.
 - 本店所在地 〒143-0001 東京都大田区東海二丁目2番1号
TEL.03-3799-5000
FAX.03-3799-1871
 - 設立 1989年1月
 - 代表者 代表執行役 萩原 正臣
 - 資本金 5億5,150万円
 - 決算期 3月31日
 - 従業員数 連結188名、単体178名
 - 事業内容 花きおよびその加工品の受託販売並びに購入販売

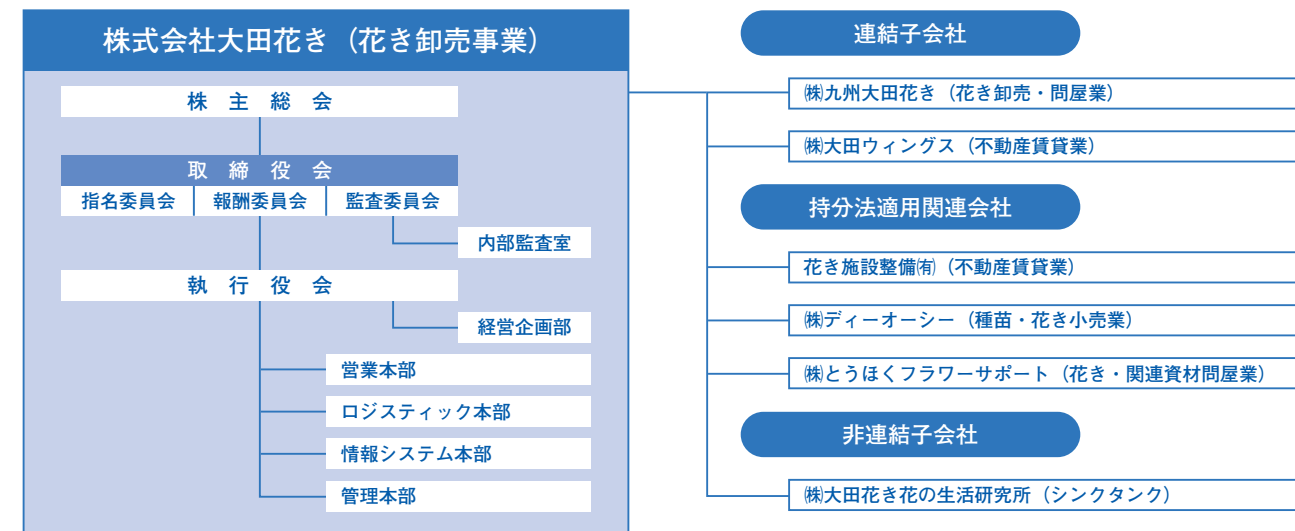
取締役会

- 2025年6月21日現在
- 取締役会会長 (指・報) 磯村 信夫
- 取締役 (指・監) (※1)(※2) 須磨佳津江
- 取締役 (指・報) (※1)(※2) 大島代次郎
- 取締役 (報・監) (※1)(※2) 菊田 一郎
- 取締役 (監) (※1)(※2) 内田 善昭
- 取締役 (指・報) (※1)(※2) 小和田有花
- 取締役 (指・監) 磯村 隆夫
- 取締役 (指・報) (※1) 川田 光太
- 取締役 (指・報) 萩原 正臣
- 指：指名委員 報：報酬委員
監：監査委員
- ※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役
※2 東京証券取引所が定める独立役員

執行役体制

- 2025年6月21日現在
- 代表執行役社長 萩原 正臣
- 執行役副社長 小杉 圭一
- 執行役営業本部長 金子 和彦
- 執行役営業副本部長 大西 克典
- 執行役管理本部長 平野 俊雄
- 執行役経営企画部長 加藤 了嗣

グループの概要



※詳細は、当社ホームページ「事業紹介」「会社概要」をご覧ください。



事業紹介



会社概要

●株主様ご優待のお知らせ

毎年3月31日現在および毎年9月30日現在の株主様に対し、以下のとおり株主で優待券を贈呈いたします。

【100株以上1,000株未満ご所有の株主様】
一律500円分の「当社オリジナル・クオカード」を贈呈。

※これはイメージです。



【1,000株以上ご所有の株主様】
一律3,000円分の「花とみどりのギフト券」を贈呈。



ご利用方法および取扱店舗についてはこちら。

<https://otakaki.co.jp/ir/shareholder/>



当社のホームページでは、企業情報、IR情報、サステナビリティなどさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆様向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://otakaki.co.jp>



●株主様へアンケートのお願い

当社は「Flower Message」を皆様とのコミュニケーションの場として充実させていきたいことからWEBアンケートを実施いたします。ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

〔WEBご回答期日〕
2025年10月31日



●株主メモ

証券コード 7555
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数 100株
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 毎年3月31日
公告の方法 電子公告
ただし事故その他やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします
(公告掲載アドレス)
<https://otakaki.co.jp/>

株主名簿管理人・
特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先)
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

※住所変更等の各種手続きについては口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、および特別口座に記載された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 大田花き

〒143-0001 東京都大田区東海 2-2-1

TEL:03(3799)5571 FAX:03(3799)1100



東京証券取引所
スタンダード市場
証券コード 7555

ファレノブシス “ベビーフェイス”

昨今は、花束にファレノブシス（コチョウラン）を入れるデザインがトレンドとして広がっています。加藤洋ラン園様のファレノブシスは、その品質と気品で圧倒的な人気を誇ります。

EDINETコード E02871

本紙『Flower Message』は、発行日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、今後の経済情勢、事業運営におけるさまざまな状況によって、記載内容が変更される可能性があります。

